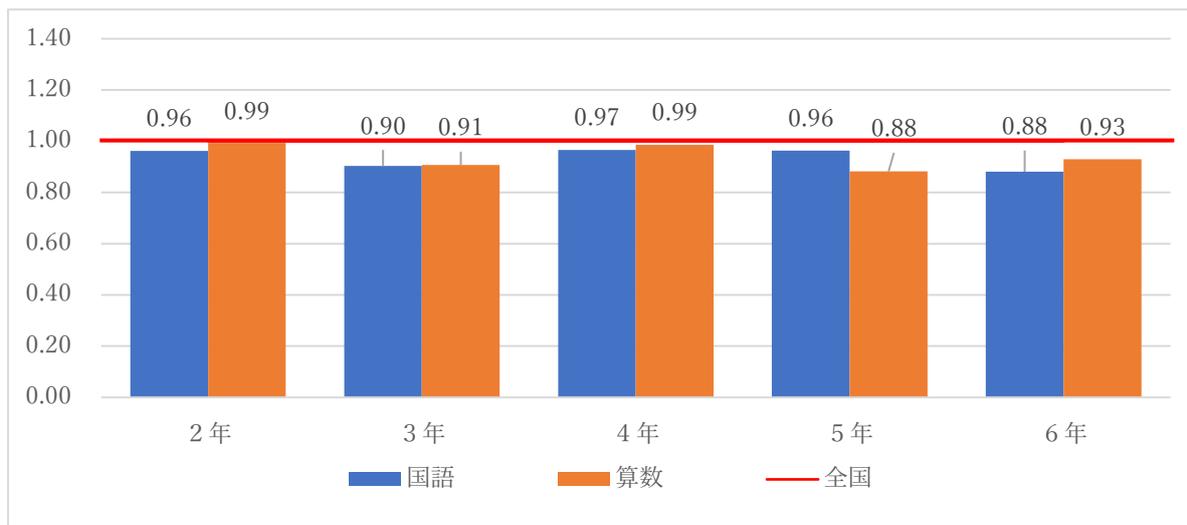


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について  
第八中学校区 点野小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「話すこと・聞くこと」領域では正答率が良好であった。「書くこと」領域では、課題が見られたため、言語活動を充実させると共に「書く」経験を積んでいくことができるよう取組を進めていく。
	算数	「データの活用」領域では正答率が良好であった。資料をさらに活用できる力を伸ばすために、基礎基本を定着させていく。一方、「図形」領域に課題が見られるため定着を図っていく必要がある。
全国学力・学習状況調査	国語	「資料の説明として適切なものを選択する」設問が、全国平均を上回る結果であった。今後も、資料活用能力を育成するため、自ら課題を設定し、資料づくりを行う等の活動を充実させる。
	算数	「三角形の角の大きさを求める」設問が、全国平均を上回る結果であった。今後も「図形」領域においてタブレットPCの活用や身近な物の事象との関連づけなど、工夫した授業を展開していく。
	質問紙	「学級生活をよりよくするために学級内で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」において、肯定的な回答の割合が全国平均を上回った。今後も主体的・対話的で深い学びの実現に向け、子どもたちが主体となる取組を推進していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

家庭学習の定着化を図るため、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。個別最適な学びを推進するために、特に算数・数学において個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い、自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【 学 校 】

日常の授業改善を進めるとともに、少人数授業、複数教員によるきめ細かな指導の実施や放課後学習会・個別指導などサポート学習の拡大により、基礎基本を着実に定着させていく。また、高学年を中心とした教科担任制を実施し、専門性の高い教科指導を更に充実させていく。